

SH型貫入試験

- 登録：No. KT-070043-A
- 実績件数：[国]29件 [企]186件 [民]3件

急傾斜地崩壊防止施設の設計、施工に必要な崩壊深度を判定する地質調査法。表層部の軟弱層を高精度で把握でき、表層崩壊の潜在崩壊すべり面が推定できる



概要

表土層調査技術研究会

東京都町田市原町田1-2-3 ダイトウテクノグリーン(株)内
 TEL：042-721-1703 E-Mail：info@hyoudoken.jp
 URL：http://www.hyoudoken.jp/

新規性

土研式簡易貫入試験をベースに貫入量をデータロガーで一打撃ごとに読み取る方式のため、土層の硬軟が検知できる。詳細なデータを高分解能かつ地表面から連続して取得可能。

適用箇所

斜面崩壊対策工、「緑の斜面づくり」に応用可能、堤防調査、大規模盛土調査における土層構造の把握、沖積層（軟弱な地層）の地層区分に適用可能。

開発目標

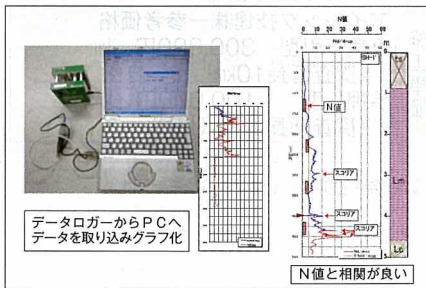
- ・省人化
- ・品質の向上
- ・その他

活用の効果

比較対象：簡易動的コーン貫入試験（土研式簡易貫入試験）
 従来技術

- ・経済性：0.59%向上
- ・安全性：向上
- ・工程：同程度
- ・施工性：向上
- ・品質：向上
- ・周辺環境への影響：向上

単価 都度見積り



試験データ出力とN値との対比